

## 2022年度 第1回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 日時：2022年10月31日（月）13時57分～15時45分
2. 場所：帝京大学医学部附属病院6階 大会議室
3. 委員：寺尾壽夫(委員長)、秦奈峰子(外部委員)、橋本恵正(外部委員)、川村雅文(学内委員)  
病院側：坂本哲也(病院長)、澤村成史(安全管理副院長、医療安全管理責任者)、  
山本貴嗣(総務担当副院長、診療録管理責任者)、  
河内正治(安全管理部長、安全管理担当医師)、  
安心院康彦(安全管理部長代理、専従安全管理担当医師)  
安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、土谷明子(看護部長)、  
吉原久直(保険指導部長)、大滝恭弘(医療共通教育研究センター)、  
和久正志(事務長・書記)、稲垣宏治(事務次長兼総務課長、内部通報窓口担当者)、  
矢口成美(総務課長補佐、内部通報窓口担当者)、根岸希三子(安全管理部)
4. 委員が確認した内容
  - (1) 病院機能評価 中間的な結果報告について
  - (2) 令和4年度医療法第25条第3項の規定に基づく立入検査の講評結果の報告
  - (3) 紙媒体の入院診療録および放射線検査フィルムの誤廃棄について
  - (4) 放射線画像保存システム機器更新時のデータの一部消失について
  - (5) 安全管理部の構成について
  - (6) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移
  - (7) 死亡・死産の報告件数について
  - (8) 令和4年度日本私立医科大学協会・医療安全相互ラウンドの実施予定について
  - (9) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績
  - (10) 未承認新規医薬品等評価委員会の活動実績
  - (11) 適応外医薬品等評価委員会の活動実績
  - (12) 新型コロナウイルス感染症における抗ウイルス薬(アビガン/ベクルリー)の委員会審査について
  - (13) 職員に対する医療安全研修および教育(e-Learning)について
  - (14) 医療機器の保守点検の年間計画と実績
  - (15) 医療機器安全使用研修の実績
  - (16) 医療機器のヒヤリハット・アクシデント報告について
  - (17) インフォームドコンセント取得に関する取り組みについて
  - (18) インフォームドコンセント取得時の同席者の基準について
  - (19) 症例カンファレンス記録について
  - (20) 院内医薬品の使用状況

- (21) 未承認・適応外・禁忌薬剤使用の実績
- (22) 注射薬の1施用毎の調剤払い出しの完全実施について
- (23) 薬剤師による抗がん剤の無菌調製の完全実施について
- (24) プロポフォール適応外使用の運用について
- (25) 内部通報窓口について
- (26) 診療録管理の業務実績
- (27) 診療録質的点検・量的点検の結果について
- (28) 他診療科・他医療職による診療録質的点検体制の構築について
- (29) 診療録記載改善の取り組みについて
- (30) 診療録記載基準の改訂について
- (31) 院内略語集の作成について
- (32) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

## 5. 監査結果

- (1) ヒヤリハット・アクシデント報告件数が増加していることを確認した。今後も引き続き取り組んでいただきたい。
- (2) 診療録の質的改善に向けて努力の跡がうかがえる。診療録記載の更なるの充実を期待する。
- (3) インフォームドコンセントについて、手術説明時の診療録記載が充実していること、説明文書の取り込み率が良好であることを確認した。
- (4) 高難度新規医療技術の導入について、高難度新規医療技術評価委員会での適正な審査のもと実施されていることを確認した。
- (5) 未承認新規医薬品等の使用について、未承認新規医薬品等評価委員会での適正な審査のもと細心の注意を払い使用していることを確認した。

## 6. 講評

病院長および各安全管理責任者からの説明を受け、意見交換と討論を行った結果、特定機能病院としての機能を十分発揮できる体制が備わっていることを確認した。今後もこの体制を維持するとともに、更なる向上に努め、患者にとって安心・安全な最良の医療を行っていただきたい。